

音楽の都、その伝統と歴史文化!

● 音楽の都ウィーンからの贈り物・豊野中出前講座

11月5日(木)に行われた春日部市立豊野中学校での出前講座「ふれあい講演会『ウィーンのまちと音楽』」の記録をご紹介します。この日は、在校生と教職員の皆さん約530名が声楽家・富田千種さんのお話と歌を楽しんでくださり、発声法に挑戦して…。講演内容は前号と被りますので、ウィーンのまちの様子をスライドから…。

* *

◆ 最初はナポリ民謡「Santa Lucia (サンタルチア)」

皆さん、こんにちは。最初に中学校の音楽の教科書にも載っているナポリ民謡「Santa Lucia」を一曲。

〔会場に間奏が流れると、皆さんも静かに聴いてくれました。〕

* *

◆ 我がまち・ウィーン



ウィーンについて紹介します。ウィーンは人口170万人の都市です。オーストリア全体でも人口は800万人くらいです。しかし、中世にはハプスブルク家が一大勢力を持ち、オーストリア帝国を築き、ハンガリー、チェコ、ポーランドの一部なども含めた大きな国でした。

ウィーンはドナウ川と森に包まれたまちです。写真の中央がドナウ川、周囲に森が広がっています。次はウィーン大学です。昔、まちを囲んでいた

城壁に使われていた煉瓦でできています。ここも無試験で入れますが、卒業することが難しい大学です。国立大学は学費が20~30万円/年間です。



〔ウィーンのまち〕



〔ウィーン大学〕

富田さんのスライドより



〔クリスマスの夜です〕



〔売られている“もみの木”は3千円~1万円程度〕



〔シェーンブルン宮殿〕



〔シェーンブルンの夜景〕

ハプスブルク家の居城であったシェーンブルン宮殿です。宮殿の前には馬車が止まっていて、馬車で街中を観光することもできます。その夜景です。

* *

◆ 音楽の都・ウィーン



〔モーツァルト〕

ウィーンが「音楽の都」と呼ばれる理由は、モーツァルトの影響です。ウィーンが神聖ローマ帝国時代の帝都であったこともあり、さまざまな人や物資が集まり、ハプスブルク家に庇護された音楽家が貴族のために音楽を作曲していました。当時はクラシックではなく、当時の作曲家たちはスターで、みんなの憧れの音楽を創りだしていたのです。当時、若い女性達がモーツァルトの曲を聴いただけで失神するというようなことがあったという記録もあります。モーツァルトは宮廷の音楽を市民の間に流行させた人ということができます。シェーンブルン宮殿の中には劇場もあるのですが、その劇場でモーツァルトは4歳で演奏したそうです。音楽の都の基礎を作ったのはモーツァルトと言えます。

そんなモーツァルトに憧れて、18歳の時にベートーヴェンがドイツからやって来てモーツァルトに師事を依頼するのですが、モーツァルトは拒み追い返します。理由ははっきりしませんが、たぶんモーツァルトがベートーヴェンの才能に嫉妬したのではないのでしょうか。そんなベートーヴェンをウィーンに招待したのが、モーツァルトの時代に活躍したハイドンです。ハイドンはモーツァルト死後にベートーヴェンを招きます。



〔ベートーヴェンと彼の墓(右写真)〕



〔ベートーヴェン遺書の家とベートーヴェン教会(写真右)〕



ベートーヴェンは、今の日本であれば福山雅治でしょうか、スターで若い女性達が追っかけをして、彼のピアノ演奏で気絶するような作曲家だったのですが、ベートーヴェンは晩年に耳が聞こえなくなるのですが、彼は教会の鐘が揺れるのを見て、自分には鐘の音が聞こえないということで絶望し自殺しようとするのです。しかし、命を取り留めて、この遺書の家で遺書を書くのですが、その後にあの交響曲第九番を作曲するのです。

そんなベートーヴェンの追っかけをした人にシューベルトがいます。シューベルトは“歌曲の王”と呼ばれ、音楽の都の名を轟かせた一人なのですが、数少ないウィーン生まれの作曲家です。ベートーヴェンに惚れてベートーヴェンの家の隣に住んだりしました。彼はハイレベルの音楽を遺しているのですが、生前は評価されず薄幸のままに無くなりました。彼の墓は死後に友人達によってベートーヴェンの隣に造られ埋葬されました。



〔シューベルト〕



〔シューベルトの生家、学校〕

さらにウィーンを代表する作曲家がヨハンシュトラウスです。「美しき青きドナウ」などを作曲し、フランス革命とナポレオン戦争終結後のヨーロッパの秩序を議論したウィーン会議の時に、彼のワルツが人々の心を癒やしました。彼によって「音楽の都」として不動のものになったと言えます。



〔ヨハンシュトラウス〕



〔ヨハンシュトラウスの家、2階の一室にさまざまな遺品がある〕

* *

◆ウィーン国立歌劇場



〔毎日講演があり、99%のチケットが完売されるウィーン国立歌劇場・オペラ座〕



* *

◆最後は「私は町の何でも屋 Largo al factotum」

最後はアリアで「セヴィリアの理髪師」からの一曲を歌います。〔この後、発声法が伝えられました〕